

デモご協力:株式会社エクスビジョン様 Detect and Catchデモ

高速移動体を1,000fpsのスピードで検出・解析し、
そこから得られる情報に基づいてアクチュエータを高速制御

●採用製品

マルチコアプロセッサ対応TRONベースリアルタイムOS

● T-Kernel Multi-Core Edition

TRONベースシステム開発スイート

● Binder

●デモ内容

エクスビジョンの高速画像処理プラットフォームのソフトウェア開発キット「HSV SDK (High Speed Vision Software Development Kit)」を使って構築したデモです。高速移動体(ピンポン玉)を毎秒1,000フレーム(1,000fps)のスピードで検出・解析し、そこから得られる情報に基づいてアクチュエータの高速制御を行います。

HSV SDKのランタイムソフトウェアとしてイーソルのeT-Kernel Multi-Core EditionとUSBデバイス側スタックを採用することにより、センサーボードから送られてきたイメージング情報のリアルタイム処理およびアクチュエータの高速制御を可能にする高いリアルタイム性と、SMPのメリットである高いスループットを両立しています。アプリケーション開発には、eT-Kernel Multi-Core Editionと緊密に統合され、複雑なマルチコアシステムのデバッグや解析を強力に支援する様々なツールを提供するeBinderが利用されています。

●USBデバイス側スタック

